

# 平成30年度 地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク（研修）実施要項

## －地域共生型社会の実現を目指す職種横断的研修－

### 1. 目的（趣旨）

昨今の少子高齢化や人口減少の進展、核家族・単身世帯の増加など社会状況の変化に伴い、地域における社会的孤立や生活困窮、虐待などの深刻で多様な生活課題が顕在化しています。

このような中、国においては「我が事・丸ごと」をキーワードに、すべての住民が地域において支えあう「地域共生社会」の実現に向けて、社会福祉法の改正をはじめ、介護保険制度や生活困窮者自立支援制度などの制度改革が行われており、社会福祉の大きな転換期を迎えています。

これらに共通する視点は、個人の生活を地域を基盤として支え、ネットワークの形成や社会資源の開発を含め、地域づくりそのものを目指していくというものであり、コミュニティソーシャルワークの考え方がこれからの社会福祉を実践するための基礎的な視点となっています。

また、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりのためには、既存の制度・サービスだけでは対応が困難な課題を抱える人々に対して、身近な場で生活者と同じ視点を持って、地域住民や関係機関・団体と協働して支援を行うことが求められます。

本研修では、これらの役割を担う支援者や地域の実践者が、様々な地域・生活課題への対応力を養い、円滑に課題解決につなげることができるよう、コミュニティソーシャルワークの視点や考え方を理解し、その展開プロセスや手法を学ぶ機会として開催します。

2. 主催 社会福祉法人富山県社会福祉協議会・富山県福祉カレッジ

3. 協力 特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

### 4. 後援

富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県知的障害者福祉協会、(公社)富山県精神保健福祉協会、(一社)富山県社会福祉士会、富山県精神保健福祉士協会、(一社)富山県介護支援専門員協会、富山県相談支援専門員協会、富山県民生委員児童委員協議会、富山県

### 5. 期 日

(1)前期課程 平成30年11月14日(水)～15日(木)

(2)後期課程 平成30年12月12日(水)～13日(木)

### 6. 会 場

パレブラン高志会館（3階 薫風の間）

富山市千歳町1-3-1 TEL：076-441-2255

## 7. 参加対象者

- (1) 市町村社協職員（地域福祉推進部門の担当者、日常生活自立支援事業及び成年後見制度担当者、生活福祉資金貸付事業担当者 等）
- (2) 地域包括支援センター職員
- (3) 障害者相談支援機関職員
- (4) 生活困窮者自立支援事業における自立相談支援機関職員
- (5) 市町村行政において地域福祉及び地域福祉計画を担当する職員
- (6) 社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の担当者
- (7) 民生委員・児童委員
- (8) ケアネット活動リーダー
- (9) 介護支援専門員等
- (10) スクールソーシャルワーカー

## 8. 日 程

### 【前期課程】

【1日目】11月14日（水） 会場：3階 薫風の間

時間	内容	講師等
9:00	受付	
9:30	開会	
9:40 (60分)	【講義①】 「これからの地域福祉のあり方とコミュニティソーシャルワーク（仮）」	富山県福祉カレッジ学長 大橋 謙策 氏
10:40	休憩	
10:50 (80分)	【演習①-1】 事例報告～県内の以下の事例から～	大橋 謙策 氏 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏
	<b>事例①</b> 大山地域包括支援センター 社会福祉士 酒井 誠 氏 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>要介護状態で、もの忘れのあるAさん。息子のBさんと娘のCさんと同居していますが、Cさんは10年間以上引きこもり状態で精神疾患の疑いがあり、被害妄想もあります。Bさんは仕事で忙しくしており、Bさんの妻はCさんとの関係が良くなく、実家に帰ることもしばしば。また、Bさん夫妻には子どもがいますが、ある時期から不登校になっています。 このような複雑な課題を抱えた多問題家族への支援について考えます。</p> </div>	
	<b>事例②</b> 富山県地域生活定着支援センター 主任相談支援員 西田 知大 氏 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>70代のAさん。若い頃から窃盗を繰り返し、40年近く刑務所と社会を行き来しており、親族とは20年以上疎遠になっています。今後は働きながら一人で生活したいという思いを持っていますが、年齢・体力的に難しいうえ、長期間にわたって地域で社会生活を送った経験もありません。このような、住まいやお金、居場所、地域での孤立等の課題がある方への支援について考えます。</p> </div>	

	<b>事例③</b> 高岡市社会福祉協議会 地域福祉課主事 山本 幸恵 氏	
	知的障害のあるAさん。同居の母Bさんも知的障害があり、現在無職。障害年金を遊興費に費やし食料品が買えなくなるなど、生活全般において困窮することがしばしばあります。高校卒業後に就職したAさんは、将来的に自立したい思いがありますが、お金の使い方が分からないほか、生活福祉資金の債務も抱えています。また、就労に対するマイナス感情も持っています。このような、母親との依存関係や今後の生活不安のある世帯に対する支援について考えます。	
	<b>事例④</b> 恵風会相談支援事業所あざみ 相談支援専門員 北滝 めぐみ 氏	
	軽度の知的障害のあるAさん。養育環境が不安定で、施設や自宅を転々としながら成長。結婚・出産しましたが、夫は仕事で深夜まで不在のため育児には協力してもらえません。また、実母がAさん名義の多額の借金を作っているほか、夫にも債務があり、生活は困窮しています。Aさんは情緒的にも不安定で、過量服薬や自傷行為があるうえ、子に発達障害の疑いがあり、育児は大きなストレスとなっています。このような家族等の支援が難しい中での、子育てが必要な事例について考えます。	
12:10	昼食・休憩	
13:10 (120分)	<b>【演習①-2】事例検討</b> 事例に基づき、グループで支援の方向性やその解決策等について討議を行う	大橋 謙策 氏
15:10	休憩	
15:20 (100分)	<b>【講義②】</b> 「コミュニティソーシャルワークのプロセスと技法」	大橋 謙策 氏
17:00	終了	

**【2日目】11月15日(木) 会場：3階 薫風の間**

時間	内容	講師等
9:30 (120分)	<b>【演習③】</b> 「コミュニティソーシャルワークの視点による 地域社会生活アセスメント」 地域における福祉ニーズや生活課題・特性等を明らかにするためのアセスメントの手法を学ぶ	大橋 謙策 氏 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏 准教授 相山 馨 氏
11:30	昼食・休憩	
12:30 (120分)	<b>【演習④】</b> 「コミュニティソーシャルワークの視点による 個別課題アセスメント」 個別アセスメントと潜在的ニーズの把握のためのアセスメントの手法を学ぶ	大橋 謙策 氏 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏 准教授 相山 馨 氏
14:30	休憩	
14:40 (140分)	<b>【演習⑤】</b> 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング (問題解決方針立案)」 コミュニティソーシャルワーク実践の視点から、1日目の事例について、グループで問題解決方針を立案する	大橋 謙策 氏 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏 准教授 相山 馨 氏
17:00	終了	

**【後期課程】**

**【1日目】12月12日（水） 会場：3階 薫風の間**

時間	内容	講師等
9:00	受付	
9:30	開会	
9:40 (140分)	<p><b>【演習⑥】</b> 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング (資源開発)」</p> <p>前期課程 演習⑤で立てた問題解決方針に基づき、必要な社会資源の開拓や開発について考える（具体的な実践プログラムの立案や事業設計を行う）</p>	
12:00	昼食・休憩	
13:00 (240分)	<p><b>【演習⑥】</b> 「コミュニティソーシャルワークにおけるプランニングの コンサルテーション」</p> <p>前期課程 演習⑤及び後期課程 演習⑥で立てたプランの発表とコンサルテーションを行う</p>	大橋 謙策 氏
17:00	終了	
17:30	情報交換会	

**【2日目】12月13日（木） 会場：（午前）3階 薫風の間、（午後）2階 カルチャーホール**

時間	内容	講師等
9:30 (60分)	<p><b>【講義③】</b> 「コミュニティソーシャルワークにおける チームアプローチの展開」</p> <p>地域におけるネットワーク形成や住民と専門職との協働、多職種連携による支援について学ぶ</p>	富山県福祉カレッジ学長 大橋 謙策 氏
10:30～ (90分)	<p><b>【講義及び演習】</b> 「コミュニティソーシャルワークの展開と地域福祉計画」</p> <p>コミュニティソーシャルワークの展開と其中で明らかになったこと・解決すべきことの地域福祉計画への位置づけ等について学ぶ</p>	大橋 謙策 氏 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏 准教授 相山 馨 氏
12:00	昼食・休憩	

13:00	<p><b>【シンポジウム】 「共生型包括ケアネットシンポジウム」</b>          実際の実践事例をもとに、コミュニティソーシャルワークの機能や視点（ニーズキャッチ、専門多職種連携、サービス開発、コーディネート機能等）について理解を深める</p> <p>(コーディネーター)          富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏</p> <p>(シンポジスト)          琴平町社会福祉協議会 常務理事・事務局長 越智 和子 氏          金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏          氷見市社会福祉協議会ふくし相談サポートセンター 主幹コミュニティソーシャルワーカー 山田 哲也 氏</p>
15:30	<p><b>【総括】 振り返り・まとめ</b> <span style="float:right">大橋 謙策 氏</span></p>
16:00	終了

## 9. 参加申込み

- (1) 申込期限 平成30年10月31日(水)
- (2) 申込方法 別紙「参加申込書」によりFAXまたはメールでお申込み下さい。  
 なお、開催要項及び参加申込書は、本会ホームページからダウンロードできます。[\(https://www.toyama-shakyo.or.jp/\)](https://www.toyama-shakyo.or.jp/)  
 FAX：076-432-6124（地域福祉・ボランティア振興課）  
 Eメール：uozumi@wel.pref.toyama.jp
- (3) 参加費 5,000円
- (4) 情報交換会の開催について  
 後期課程1日目(12月12日)の研修会終了後、情報交換会を開催しますので、是非ご参加ください。  
情報交換会費 5,000円(※当日、受付でお支払いいただくこともできます。)  
 ＊飲酒される場合のお車でのご来場はご遠慮願います。
- (5) 参加費等のお支払い方法  
11月7日(水)までに下記指定口座へお振込みください。  
 なお、振込手数料はご参加される方においてご負担願います。

北陸銀行 県庁内支店 普通預金 No.1083785 口座名義：福)富山県社会福祉協議会 社会福祉事業
--

- (6) その他 申込多数の場合は、1事業所からの参加者調整やお断りをさせていただく場合があります。その際は、申込期限後、1週間以内にご連絡します。

## 10. その他

本研修課程の修了者には、別途本会が開催するコミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ講座の受講資格が得られます。

## 11. 問合せ先

富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 [担当：魚住・古野・池田]

〒930-0094 富山市安住町5番21号

TEL：076-432-2960 FAX：076-432-6124 E-mail：uozumi@wel.pref.toyama.jp

### [会場案内図]

JR 富山駅  
正面口より  
徒歩10分

